



## 2023年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年12月27日

上場会社名 ケイティケイ株式会社  
 コード番号 3035 URL <https://www.ktk.gr.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 英生

上場取引所 東名

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長兼グループ戦略本部長 (氏名) 葛西 裕之

TEL 052-931-1881

四半期報告書提出予定日 2022年12月28日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第1四半期の連結業績(2022年8月21日～2022年11月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	4,130	3.5	75	3.1	107	6.2	67	3.6
2022年8月期第1四半期	3,990		73		101		64	

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 96百万円 (23.9%) 2022年8月期第1四半期 78百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	12.43	
2022年8月期第1四半期	12.06	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	8,770	3,639	41.5
2022年8月期	8,378	3,618	43.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 3,639百万円 2022年8月期 3,618百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		0.00		14.00	14.00
2023年8月期					
2023年8月期(予想)		7.50		7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年8月21日～2023年8月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	2.4	180	20.2	235	16.6	145	8.5	26.87
通期	17,600	2.3	430	6.4	520	3.6	325	3.1	60.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期1Q	5,725,000 株	2022年8月期	5,725,000 株
期末自己株式数	2023年8月期1Q	328,771 株	2022年8月期	328,771 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期1Q	5,396,229 株	2022年8月期1Q	5,367,114 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年8月21日～2022年11月20日)におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直しの動きがみられたものの、世界的な金融引締め等が続く中、物価高騰や供給面での制約による影響が今後も懸念され、先行き不透明な事業環境が続いております。

このような環境の中、当社グループはビジョンである「Change the office mirai」の実現と中長期の成長を目指して策定した中期経営計画「Growth Plan」の2024年8月期までの計画を達成すべく、サプライ事業を基盤事業、ITソリューション事業を成長事業と位置付け、グループ会社を挙げて重点施策を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、仕入商材や原材料の高騰に対してすみやかな販売価格の改定により影響を抑えたことに加え、成長事業と位置付けるITソリューション事業が順調に推移しました。また3月に資本提携したイコリスが展開するデジタルマーケティングを活かしたEC事業も大きく貢献しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,130,724千円(前年同四半期比3.5%増)、営業利益は75,784千円(前年同四半期比3.1%増)、経常利益は107,891千円(前年同四半期比6.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は67,080千円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

なお、当社連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### (サプライ事業)

リサイクル製品の原材料高騰や、商品の仕入価格高騰が引き続き大きく影響したものの、すみやかな販売価格の改定に努め影響を最小に抑えました。一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大傾向が収まりつつある中、環境衛生商品の需要が減退したことが影響しました。

これらの結果、売上高は3,337,706千円(前年同四半期比0.2%減)、セグメント利益は182,945千円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

#### (ITソリューション事業)

2022年3月に資本提携したイコリスが展開するデジタルマーケティングを活かしたEC事業の成長が大きく貢献しました。また、2022年8月期に専門部署として立ち上げたケイティケイのITソリューション事業部の売上・利益も伸長しました。

これらの結果、売上高は793,017千円(前年同四半期比22.7%増)、セグメント利益は42,991千円(前年同四半期比101.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ392,508千円増加し、8,770,771千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ389,486千円増加の5,813,984千円となりました。これは、主に現金及び預金が194,417千円、受取手形及び売掛金が226,863千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,022千円増加の2,956,787千円となりました。これは、投資その他の資産が30,782千円増加し、有形固定資産が13,204千円、無形固定資産が14,556千円減少したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ350,352千円増加の4,651,971千円となりました。これは、主に短期借入金が547,501千円増加し、電子記録債務が247,558千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ20,704千円増加の478,820千円となりました。これは、主に長期借入金が25,845千円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ21,451千円増加の3,639,980千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が29,918千円増加し、利益剰余金が8,466千円減少したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、2022年10月3日に発表いたしました連結業績予想より変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,222,865	2,417,283
受取手形及び売掛金	2,453,828	2,680,691
商品及び製品	541,751	537,661
仕掛品	—	388
原材料及び貯蔵品	123,260	112,802
その他	83,872	65,374
貸倒引当金	△1,079	△217
流動資産合計	5,424,497	5,813,984
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,150,441	1,150,441
その他(純額)	486,529	473,324
有形固定資産合計	1,636,971	1,623,766
無形固定資産		
のれん	287,894	276,129
その他	34,063	31,271
無形固定資産合計	321,957	307,401
投資その他の資産		
その他	995,203	1,025,995
貸倒引当金	△366	△376
投資その他の資産合計	994,836	1,025,619
固定資産合計	2,953,765	2,956,787
資産合計	8,378,262	8,770,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,411,387	1,484,921
電子記録債務	1,234,089	986,531
短期借入金	1,060,850	1,608,351
未払法人税等	101,990	57,697
賞与引当金	92,895	62,808
役員賞与引当金	24,670	—
その他	375,735	451,662
流動負債合計	4,301,618	4,651,971
固定負債		
長期借入金	76,730	102,575
役員退職慰労引当金	17,860	18,996
退職給付に係る負債	130,378	134,595
その他	233,146	222,653
固定負債合計	458,115	478,820
負債合計	4,759,734	5,130,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	664,649	664,649
利益剰余金	2,687,277	2,678,810
自己株式	△121,231	△121,231
株主資本合計	3,525,369	3,516,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,158	123,077
その他の包括利益累計額合計	93,158	123,077
純資産合計	3,618,528	3,639,980
負債純資産合計	8,378,262	8,770,771

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年8月21日 至 2021年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月21日 至 2022年11月20日)
売上高	3,990,390	4,130,724
売上原価	3,135,480	3,178,812
売上総利益	854,910	951,911
販売費及び一般管理費	781,410	876,126
営業利益	73,499	75,784
営業外収益		
受取利息	117	13
受取配当金	8,249	10,667
仕入割引	8,416	8,585
受取家賃	10,268	12,151
その他	3,834	3,586
営業外収益合計	30,885	35,004
営業外費用		
支払利息	1,180	1,313
不動産管理費	1,306	1,394
その他	276	189
営業外費用合計	2,763	2,897
経常利益	101,621	107,891
特別利益		
保険解約益	—	1,197
投資有価証券売却益	130	—
特別利益合計	130	1,197
税金等調整前四半期純利益	101,751	109,088
法人税、住民税及び事業税	41,725	58,773
法人税等調整額	△4,750	△16,764
法人税等合計	36,975	42,008
四半期純利益	64,776	67,080
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	64,776	67,080

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年8月21日 至 2021年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月21日 至 2022年11月20日)
四半期純利益	64,776	67,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,503	29,918
その他の包括利益合計	13,503	29,918
四半期包括利益	78,280	96,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,280	96,998
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年8月21日 至 2021年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,343,856	646,533	3,990,390	—	3,990,390
外部顧客への売上高	3,343,856	646,533	3,990,390	—	3,990,390
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,080	71,952	101,033	△101,033	—
計	3,372,936	718,486	4,091,423	△101,033	3,990,390
セグメント利益	177,728	21,326	199,054	△125,555	73,499

(注)1 セグメント利益の調整額△125,555千円は、セグメント間取引消去2,113千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△127,669千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年8月21日 至 2022年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,337,706	793,017	4,130,724	—	4,130,724
外部顧客への売上高	3,337,706	793,017	4,130,724	—	4,130,724
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,159	29,527	78,686	△78,686	—
計	3,386,866	822,545	4,209,411	△78,686	4,130,724
セグメント利益	182,945	42,991	225,937	△150,152	75,784

(注)1 セグメント利益の調整額△150,152千円は、セグメント間取引消去5,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△155,425千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。